

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	鋼構造設計規準改定小委員会		主 査 名：田川泰久 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：多田元英
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2005 年に改定出版されている第 4 版『鋼構造設計規準 一許容応力度設計法』を 関連基規準や規格との不整合を可能な限り解消し、新しい知見を加える検討 を行い 2018 年度に改定し、第 5 版の出版を目的とする。 初年度：抽出された問題点や新規知見の検討を行う。 2 年度：各章の素案作成など改定作業を行う。 3 年度：出版、講習会に向けた準備作業を行う。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：田川泰久 (横浜国立大学) 幹事：五十嵐規矩夫 (東京工業大学)、岡崎太一郎 (北海道大学) 委員：伊藤浩資 (新日鐵住金株式会社)、井戸田秀樹 (名古屋工業大学)、小野潤一郎 (株式会社日建設計)、竹内徹 (東京工業大学)、多田元英 (大阪大学)、中込忠 男 (名誉教授・信州大学)、中野達也 (宇都宮大学)、増田浩志 (宇都宮大学)、 見波進 (東京電機大学)、山田丈富 (千葉工業大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2016 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリ ックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた 成果との関係)	1. 抽出された約 50 項目の問題点について、90%程度は大凡改定の方向性が 決まった。新規知見についても、構造形式や隅肉溶接などは検討し改定 に反映することとした。 2. 初年度の活動計画をほぼ満足しており、順調に改定作業に移行している。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 小委員会の日程調整が難しく、土曜日や祝日開催が多くなっている。